

2/14の
My Sugar Baby

R-18



あらすじ...

わたしたちの世界とよく似たその世界には、「ヒトネコ科」と言われる猫の耳としっぽを持ったイキモノがいました。ヒトネコ科はとても人間に近い容姿を持っていますが、成長は人間でいうとおよそ15歳で止まり、寿命も長く生きて40年と短く、そのため人間に愛玩用として飼われるのがヒトネコ科にとっての幸福と、その世界では言われていました。

ある雨の日のこと、ごしゅじんさまは一人のヒトネコを保護しました。「りくと」と名乗る少女は多くを語ろうとはしませんでした、少女の数少ない言葉は捨てネコであることをごしゅじんさまに感じさせました。

その日の夜、「いびきがウルサイ」と馬乗りになられたごしゅじんさまは、つい少女に性的興奮を覚えてしまいます。しかしヒトネコ科は異性のそういった「匂い」をかぎとると発情する性質をもっていました。匂いにつられごしゅじんさまにご奉仕したりくとは欲求を鎮めることができず、二人は行為に及びます。

行為の中、「捨てないで、さみしい」とりくとは吐露します。
そんなりくとを見てごしゅじんさまは少女と共に暮らす決意をしました。

こうして二人のラブラブ生活が始まったのです。



◀ りくと

雨の中ごしゅじんさまに拾われたヒトネコ科の♀。

着るものはごしゅじんさまの服。
ごしゅじんさまの匂いがしないと嫌。

ごしゅじんさま ▶

りくとのごしゅじんさま。

服装に無頓着。
りくとが着るので少し
買い足した様子。





ごしゅじんさま...
おきて...
おきて...

ん...

また泣いて!?



あのね...

ぎゅってして
ほしいの



へっ?



ぎゅーって
りくとのこと
ごしゅじんさまで
いっぱいにして
ほしいの

突然どう...

今日は二月一四日!
バレンタイン!

02.14
00:00





う...と...と...

はっ

はっ

りくと
何度目？

も...
わかんないっ

はっ

はっ

びく

びく

はっ

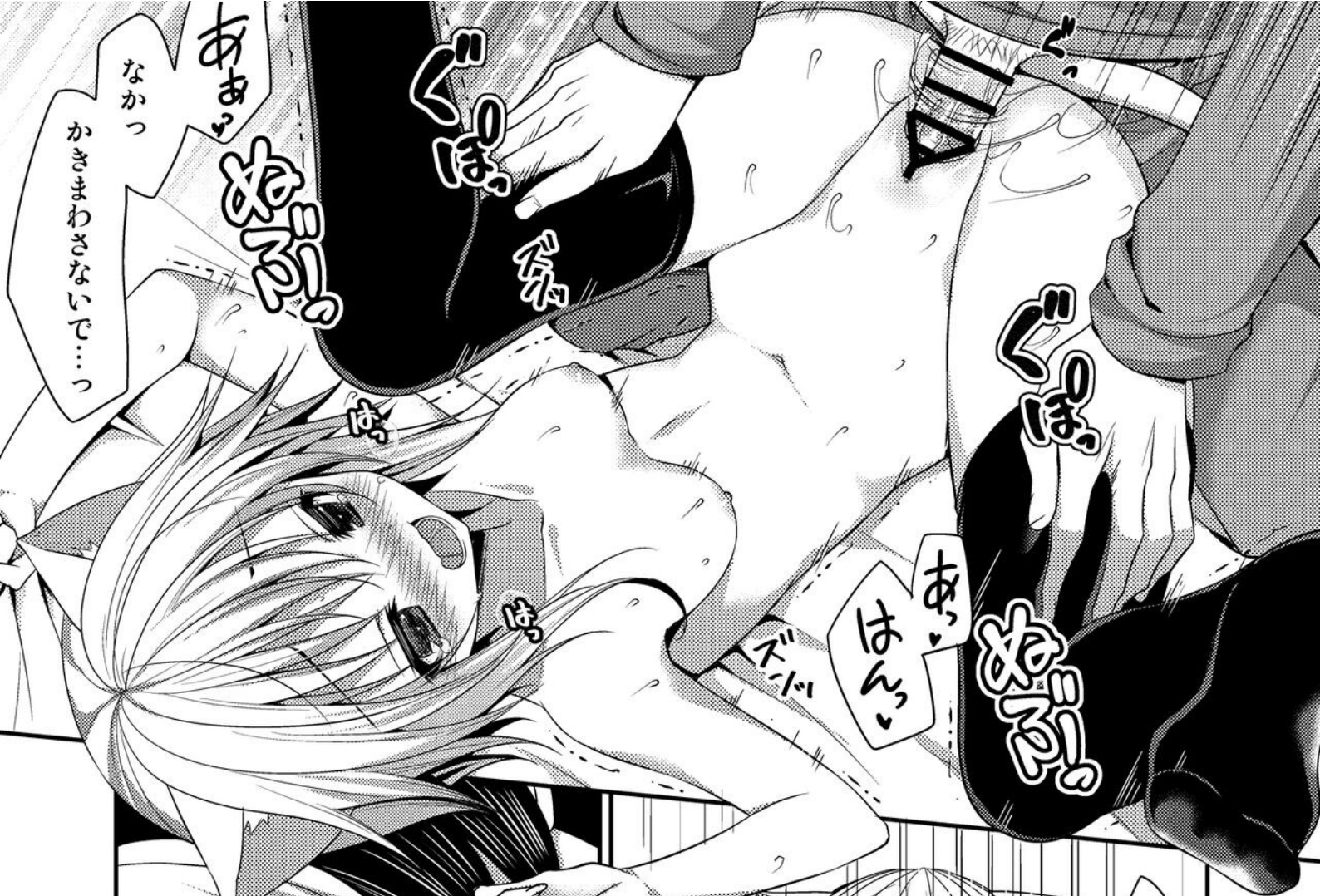
はっ

はっ

はっ

はっ





かきまわさないで……っ

なかつ

あゝゝ
ぬる

ぐぼ

ズボ

ぐぼ

ぬる

はん

ズボ



だいすぎ……っ

ちゅ

うん……っ

あゝ

ん……っ

ぬる

はん

はん

ぬる



俺でいっぱいになつた？

ズキッ

ズキッ



おっ
おっ



今日はなんて
いい日なんだ



エーーーーー
!?!?



Fin...